

2026年度 花王科学奨励賞 応募要項

公益財団法人 花王芸術・科学財団

1. 花王芸術・科学財団の事業

当財団は「花王芸術文化財団」として花王100周年を記念して平成2年（1990年）に設立され、発足以来、美術・音楽分野の芸術活動に対する幅広い助成・後援の事業を進めて参りました。平成9年4月、名称を「財団法人 花王芸術・科学財団」に変更し、新しい目的を掲げ大幅に事業を拡大致しました。従来の芸術文化活動の助成・支援を発展的に継続すると共に、新たに科学技術分野の研究助成・支援や現在の芸術文化、科学技術の枠組にとらわれない、文・理を融合した総合的研究の支援を行います。さらに平成11年度からは顕彰事業を加え、花王研究奨励賞の贈呈を行っております。設立20周年を迎えた平成22年10月、公益認定を受け、名称を「公益財団法人 花王芸術・科学財団」に変更し新たなスタートをいたしました。更に、平成28年度よりは、科学分野の研究助成および顕彰事業を一層発展・強化することを目指し、名称を「花王科学奨励賞」（研究助成）、「花王科学賞」（顕彰事業）と変更致しました。当財団はこれらの事業を着実に実行し、その成果を広く共有していただくことによって、我が国の文化・科学の発展向上に寄与できるよう努めたいと念じております。

2. 研究助成の主旨

「表面の科学」の〈化学・物理学分野〉と〈医学・生物学分野〉の若い研究者の、未来を拓く独創的、先導的な研究に対し助成したいと考えております。

3. 助成対象となる研究分野：表面の科学とは

2026年度は「表面の科学」の〈化学・物理学分野〉と〈医学・生物学分野〉の両分野を対象に募集を行ないます。なお、両分野は次のように広義に捉え、自由度をもって解釈していただき、ユニークなサイエンスを求めています。

化学・物理学分野	固体表面、固液界面、触媒、超微粒子、コロイド、分子集合体、ナノマテリアルなどにおける新規な作成法、計測法、新規物性発現、機能創出、デバイス展開など界面と表面の科学に関する研究
医学・生物学分野	生物個体が外界や自らのもつ内腔（腸管、気管など）に接する部位や、脈管系（血管、リンパ管など）を形成する表皮、上皮、内皮の各細胞およびその付属器官や関連する生理機能を対象とする、個体、臓器、細胞または分子レベルの医学・生物学

4. 応募資格

国内の国公立の大学、または研究機関等に所属する2026年4月1日現在35歳以下の研究者。（例外として、36歳以上となる博士の学位を取得後4年以内の者を含む。）研究グループの一員である場合は主体的に研究している研究者に限ります。女性研究者と外国籍研究者の応募を歓迎します。

※ 上記の年齢制限を超える方で、ライフイベント（出産、育児、介護、けがや病気、そのほかに研究を中止せざるを得なかった重要な事項を指します）による研究の中断があった方については、別紙の申告書を添付の上ご応募が可能です。申告内容は選考委員会に於いて審議のうえ、選考いたします。

5. 助成金額

総額 2000 万円（1 件 200 万円）

（「表面の科学」の〈化学・物理学分野〉5 件、〈医学・生物学分野〉5 件を原則とします）

6. 応募方法、選考方法および選考結果の通知

① 下記 a. または b. のいずれかの応募方法とします。

a. 候補者が現在所属する機関からの応募。（所属機関の責任者（学部長、研究科長等）の承認が必要。）なお、1 研究施設（標準的には学部または研究所を 1 つの単位とします）からの応募は 1 件でお願い致します。

b. 指定した学会からの推薦。（推薦方法は別表の学会 Web サイトを参照）

② 当財団の Web サイトよりマイページを取得後、申込書および申請書をダウンロードし書類を作成してください。申込書、申請書、代表的論文 1～2 報をアップロードし Web 申請してください。

※申請された個人情報については、花王芸術・科学財団に関連する活動のために利用いたします。

当財団では、個人情報を参加者のご同意なく上記の利用目的以外で使用することや、第三者へ提供することはありません。

ただし、法令の定めに基づき個人情報を開示又は提供する場合はこの限りではありません。

③ 募集期間は、2025 年 7 月 1 日～10 月 31 日とします。

④ 花王科学奨励賞の選考は、当財団の選考委員で構成される選考委員会で行います。選考は財団の内規に基づき、利益相反に留意して実施しております。

《 化学・物理学分野 》

委員長	川合 眞紀	自然科学研究機構 機構長、東京大学名誉教授
委員	相田 卓三	理化学研究所 創発物性科学研究センター (CEMS)
		創発ソフトマター機能研究グループ グループディレクター、 東京大学 東京カレッジ 卓越教授
	青野 正和	物質・材料研究機構 名誉フェロー
	川上 浩良	東京都立大学都市環境科学研究科 教授
	君塚 信夫	九州大学 JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム (K2-SPRING) 事業統括・総長補佐、ネガティブエミッションテクノロジー 研究センター 特任教授・名誉教授

《 医学・生物学分野 》

委員長	吉森 保	大阪大学名誉教授、大阪大学大学院医学系研究科 特任教授
委員	天谷 雅行	慶應義塾大学 常任理事、医学部皮膚科 教授

岡部 繁男	東京大学 副学長、大学院医学系研究科 教授
仁科 博史	東京科学大学総合研究院 院長、難治疾患研究所 教授
柳田 素子	京都大学大学院医学研究科教授

- ⑤ 花王科学奨励賞の決定は、当財団の理事会において行います。
- ⑥ 選考結果は、2026年2月末までに申請者に通知致します。
- ⑦ 研究助成金は、2026年4月末までに花王科学奨励賞受賞者に交付します。

7. 研究助成金の使途

その研究に役立つものであれば特にその使途について限定は致しませんが、申請書記載の通り使用することを原則とします。

8. 研究成果の報告

- 奨励賞の授与式と前年度の受賞者の研究成果発表・交流会を、2026年5～6月に開催いたします。必ずご出席頂き、前年度の研究成果発表もご聴講ください。
- 研究の成果および会計報告は、助成年度の終了時2027年4月末日までに当財団に文書で提出して頂きます。報告書の用紙は受賞決定後にお送りします。
- 研究成果については、財団主催の研究成果発表・交流会（2027年5～6月に開催予定）において必ずご本人による口頭発表を行っていただきます。会場での参加を必須としリモートや録画での発表は認められません。発表を行わない場合は助成金を返還していただく場合があります。
- 助成金による研究成果を学術誌に発表する場合には“公益財団法人 花王芸術・科学財団（英文の場合は The Kao Foundation for Arts and Sciences）の助成による”旨を書き添えて下さい。

9. 照会・申込み先

この件に関するお問い合わせは、下記の財団事務局までメールでお願いいたします。

〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3
公益財団法人 花王芸術・科学財団 事務局分室
長谷 正
e-mail : zaidan@kao-foundation.or.jp
URL : <https://www.kao-foundation.or.jp/>

以上

[別表] 花王科学賞・花王科学奨励賞 指定推薦学会

・ 一般社団法人 日本解剖学会
・ 一般社団法人 日本細胞生物学会
・ 一般社団法人 日本細胞生物学会
・ 一般社団法人 日本生物物理学会
・ 公益社団法人 応用物理学会
・ 公益社団法人 日本金属学会
・ 公益社団法人 日本生化学会
・ 分子科学会
・ 公益社団法人 日本表面真空学会

- ・ 推薦方法は各学会 Web サイトをご確認ください。

2025 年 6 月 15 日現在

★記入要領

承認者所属・職名・氏名および公印捺印後に、PDF形式にてアップロードしてください。

作成日

候補者	奨励賞申込書	
	研究分野	
	申請者氏名（フリガナ）	
	生年月日	年齢
	所属機関1	
	所属機関2	
	所属機関3	
	所属機関4	
	職名	
	所属機関 郵便番号	
所属機関 住所		
所属機関 TEL/FAX		
e-mail		
研究題目		

承認者	承認者の所属・職名(学長、学部長、研究所長等)・氏名および公印	
	所 属:	所属、職名、氏名は手書きやゴム印等でも可。
	職 名:	公印必須
	氏 名:	
	公印	

連絡窓口	連絡窓口担当者 所属	
	連絡窓口担当者 氏名	
	連絡窓口担当者 TEL	
	連絡窓口担当者 e-mail	

申込書(このページ)は申請フォーム入力後にダウンロード可能となります。押印後にPDFにしてアップロードして下さい。

令和4年度 花王科学奨励賞申請書

氏 名 :
所属・役職 :

1. 研究目的

1) この研究の表面の科学としての位置づけを示してください。

「表面の科学」をどのように解釈し自身の研究を位置付けているか お聞かせください。

2) この研究により明らかにしようとする目標を、その背景とともに簡潔かつ具体的に記入して下さい。
略号を用いる場合は、最初にフルスペルでの記載をお願いします。

申請内容が「花王科学奨励賞」にどのように値する
と考えるかを アピールしてください。

2. 研究計画

(申請者が主体的に研究を実行するものに限ります。準備状況、申請者本人の主体性、また研究協力者の役割分担など適宜ご記入下さい。)

申請者の独創性、主体性、貢献内容を
明確に記載してください。

3. 研究協力者(大学院生を含む)

(研究の一部を分担する方がおられる場合にはご記入下さい。その場合は「2. 研究計画」に分担する課題、実験などを具体的に示してください)

・ [氏名] _____
[所属研究機関・職・生年月日] 西暦 年 月 日生

・ [氏名] _____
[所属研究機関・職・生年月日] 西暦 年 月 日生

4. 申請者の研究歴

1) 略歴 (研究歴を中心に大学入学時より始め、異動した大学・学部・講座(研究所・研究部門)など連続して詳細に、可能な限り講座担当教授(部室長)の名前を括弧に入れて後に添える。学位を有するものは博士の学位取得の年月を記入する。年号は西暦で記入。)

箇条書きだとわかりやすいです。
博士の学位取得の年月の記入漏れ注意!

学位論文テーマ _____

2) これまでの研究の成果の概略

(研究成果を年代順(年号は西暦)に記載し、該当する発表論文を「7. 発表論文」の番号で示してください。)

規模や実績のある研究チームの中での成果については、申請者自身の役割、貢献度、主体性、独自性を明確に示してください。
また、その実績が反映されている論文が明確に分かるように「7.発表論文」との紐づけを明確にしてください。

5. 関連領域の日本を含む国際的な最近の進歩とその中での本研究の位置づけ

(本研究の遂行のために申請者ご自身が日頃文献を検索して得ている最先端の知識とそれに基づく独自の基本的概念をミニレビュー形式でご披露下さい。自己宣伝は求めません。優れた総説や最近話題となった報文などはなるべく引用(ジャーナル、巻、頁、年)して下さい。この項目5.の内容は研究能力を裏付ける一つの指標として評価の重要な対象になります。)

(項目1～5のそれぞれの長さは、全体として4頁以内に納まるように適宜増減して結構です。)

6. 研究費用関連

1) 本研究に要する全研究費 約 _____ 万円

2) 助成金(200万円)の使途内訳(設備・備品費、消耗品、その他など具体的に記してください。)

3) 他機関からの援助

(申請者または研究協力者がこの申請テーマに関して最近4年間に受領した、または現在申請中の公的研究費(文科省の科学研究費補助金など)、他財団助成金等について記入してください。)

(千円)

年度	援助費名称	受領者名	研究題目	金額

7. 発表論文（代表論文1～2報に○印を付してPDF ファイルをアップロードしてください）

- 1) 原報に限ります。（学会発表要旨やプロシーディングは除く）和文原報はその旨明記のこと。総説などは別にして後部に付けても結構です。
- 2) 発表順と逆に（新しい方から古い方へ）並べてください。
- 3) 著者名（原則として全員、申請者にはアンダーライン）、報文題名、ジャーナル名（正式な略語を使用）、巻数、ページ（先頭と最終）、年号の順に記載。
- 4) 査読または投稿中の論文は記載しないでください。また、発表予定の論文は受理されたことを証明できるもの（コピー可）を末尾に添付してください。
- 5) 用紙不足の場合は追加してください。

代表論文への○印の付け忘れが多いので、必ず確認して下さい。

別紙

ライフイベントについての申告書

氏 名				
所 属				
生年月日	西暦 年 月 日 （年齢 ）			
応募分野 該当するものに○	花王科学賞		花王科学奨励賞	
	化学・物理学分野	医学・生物学分野	化学・物理学分野	医学・生物学分野
研究中断の理由	出産 育児 介護 けが・病気 その他（ ）			
研究中断の期間	西暦 年 月 ～ 年 月			
その他 申告しておきたい事由がありましたらご記入ください	この別紙は、応募資格の年齢制限を超える方で「ライフイベントの中断がある方」に提出していただく書式です。			